

福山医療生協組合員活動ニュース

NO. 6

2022年 6月10日

発行：福山医療生協 組織部

あしな支部が、ウクライナ支援募金17,350円を ふくやま国際交流協会に届けました！



写真：寄付金を渡す篠原和雄あしな支部長(左)、佐藤淳爾事務局長(右)

私たち福山医療生協は、2月24日に始まったロシアのウクライナ侵略を受け、ウクライナ支援募金に取り組んでいます。法人としては、日本医療福祉生協連を通じて日本ユニセフに寄付金を送ることとしています。あしな支部は、組合員から福山市に避難している方がいるのでその方々を支援したいとの声を受け、支部独自で、2回の朝市やグランウインドゴルフ大会、支部総会で募金を呼びかけました。6月7日、篠原支部長と花岡組織部員が、ウクライナからの避難家族を支援している「ふくやま国際交流協会」(福山市役所市民生活課内)に、集まった募金17,350円を届け懇談しました。

佐藤事務局長から、現在5家族が避難している。避難家族から、静かに暮らしたいとの要望があり、騒ぎ立てないようにしている。これからも寄付の支援をお願いしたい。との要望が出されました。あしな支部は引き続き取り組むことにしています。

みんなの家どんどんで定期消防訓練を実施！



福山医療生協では、「みんなの家どんどん」を居場所として社会福祉協議会に登録しています。それ以前は、1階を看護小規模多機能施設、2階を居宅支援事業所、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションの事務所として活用していました。2018年に旧城北診療所の跡地に、在宅センターを新築し、デイサービスすみれを含む在宅関連事業所すべてが移転しました。

現在、コロナ禍が少し改善してきたことを受け、感染対策を取りながら、1階では、支部のボランティアさんの援助を受けて、毎週、喫茶、昼食を提供する居場所として活用し、月2回配食弁当、運営委員会、班会等会議の会場としても使用しています。6月から、電動自転車2台を設置して健康づくりにも取り組んでいます。2階には組織部が常駐し、組合員活動の拠点としています。年2回消防訓練を西消防署の協力のもと開催しています。(写真：水消火器で実施訓練中)